

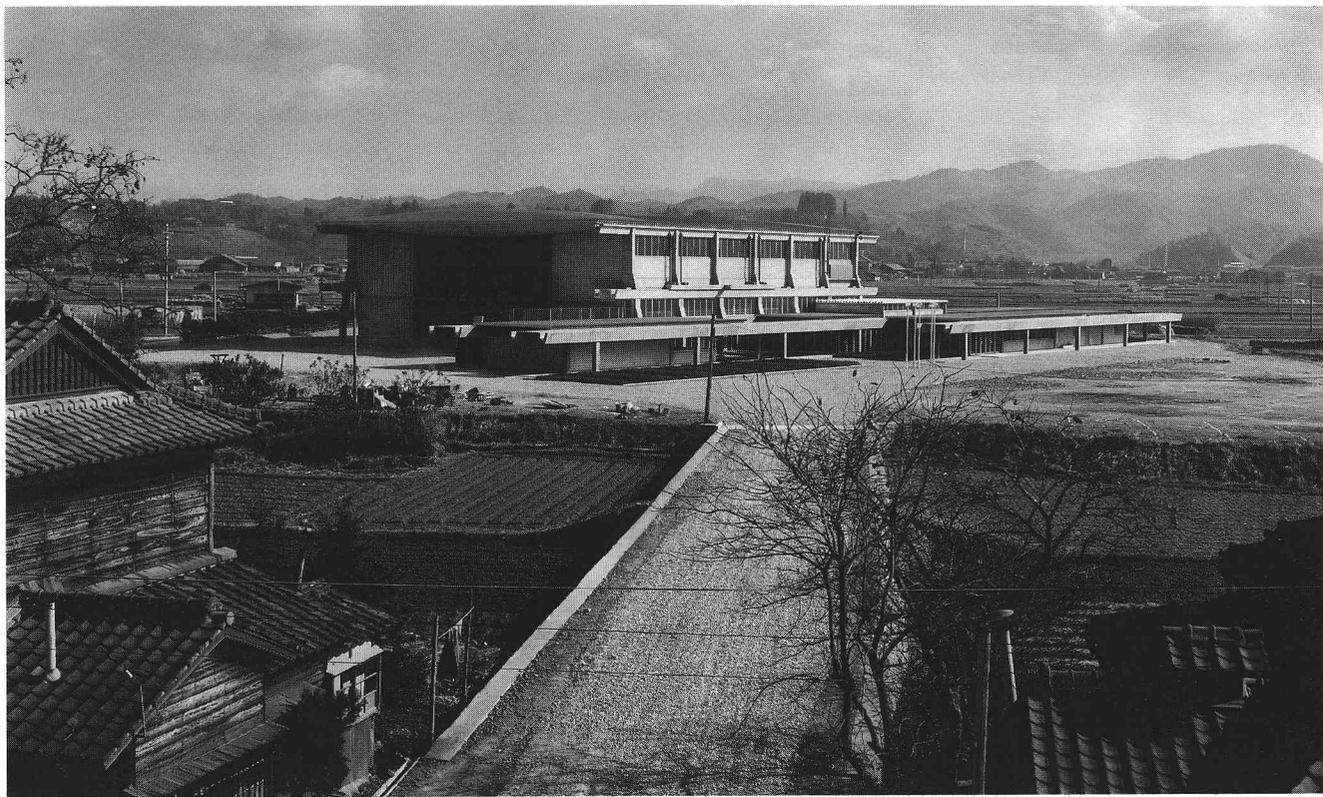
## 048 立花町体育館

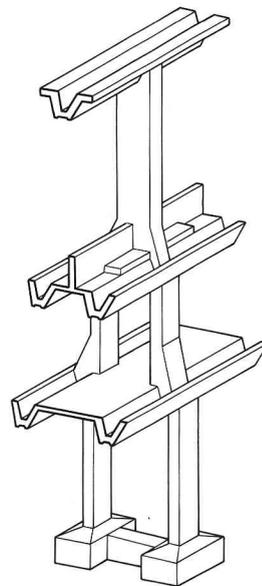
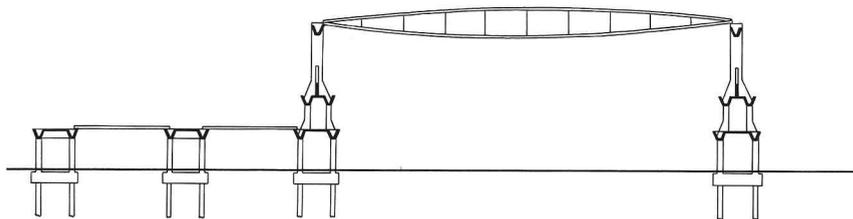
福岡県 建築設計——菊竹清訓建築設計事務所

鉄筋コンクリート造+鉄骨造，地上2階建，1967年

アーチや吊り材は経済的に優れた構造であるが，支点の反力が面倒である。アーチは外へ開こうとするし，吊り材は内へ縮もうとする。ところが，これらを組み合わせると，そのような水平力が相殺されて，ただ下から支持するだけでよい。この体育

館は屋根がアーチ，天井が吊り材，両者とも鉄板の折板で，軽量鉄骨の束が両者を結びつけている。屋根のアーチの座屈抑えのため，鉄筋ブレースを入れている。





左頁：アプローチより見る  
 左上：軸組(S=1/550)  
 右右：主架構  
 左下：屋内競技場  
 右下：柱詳細  
 撮影：彰国社写真部

